

編集後記

会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。ここに、京都大学土木会会報No.58をお届けいたします。本号の編集にあたり、会員の皆様からご寄稿をいただき、発行に至ることができました。皆様方の多大なるご支援・ご協力に、幹事一同、厚く御礼申し上げます。

今年新型コロナウイルスが猛威を奮い、現在でも日常生活に大きな影響を及ぼしています。京都大学土木会の活動も大きく制約を受け、役員会報告にもありますように、3月の予餞会が中止となり、例年6月に開催している役員会、総会も延期を余儀なくされました。約半年間、コロナ禍が収まることを期待しておりましたが、終息する兆しもないことから、11月に役員会をオンラインで開催いたしました。初めての試みでありましたので幹事として色々心配いたしましたが、結果、昭和28年卒から平成30年卒まで、全国各地から、例年より多くの評議員にご参加いただき、ご審議いただくことができました。役員会では、「例年は京都まで行くことが難しかったが、今回はオンラインのため参加することができた。次年度もこの経験を活かしてほしい。」とのご意見も頂戴しました。コロナ禍をプラスに変え、新しい日常の中での京都大学土木会の活動を模索していきたいと思っております。

京都大学土木会の規約では、役員会の審議事項は総会にて報告、了承されることが求められております。役員会での審議の結果、本会報を通じて会員の皆様に報告することで総会に代えさせていただくことになりました。つきましては内容をご確認いただき、ご意見ございましたら京土会事務局までお知らせいただければ幸いです。

今後とも引き続き、会員の皆様のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

令和2年度 幹事

高橋 良和、松中 亮治、島田 洋子